

第5回水防工法競技大会

木曾川右岸地帯水防事務組合



半月状に土のうを積み、つぎ目に砂を詰め踏み固める(月の輪工法)水防団員

当町の成績は次のとおりです。

積土のう工法の部 準優勝 米野水防団

10月30日、木曾川右岸地帯水防事務組合(管理者広江正明笠松町長)主催の第5回水防工法競技大会が笠松競馬場西駐車場で開催されました。

この大会は、水防団員の士気高揚、洪水時の即応の作業向上、水防体制の万全、区域住民の水防に対する理解と協力を得ることを目的で行われました。

笠松町をはじめ、岐南町・岐阜市・各務原市の15水防団が参加し、積土のう工法には8団が、月の輪工法には7団が日ごろの訓練の成果を競いました。

「芸術の秋」を堪能

笠松町美術展

第41回笠松町美術展が10月29日から31日までの3日間、中央公民館・町民体育館で開催されました。

29日には、オープニングセレモニーが行われ、たくさんの方が会場に詰めかけました。

日本画、水墨画、洋画、書、版画、彫塑・工芸、写真の部門に312人から422点の作品が展示されました。3日間で町内外から1,350人程の参観者が来場し、各部門の力作に見入っていました。

また、企画運営委員の皆さんによるチャリティ小品展も同時開催され、その収益金は東日本大震災の復興支援のために寄付されました。



作品を鑑賞する参観者

ひとり暮らしの方を訪問

町赤十字奉仕団



手づくりのおはぎを届ける奉仕団員

笠松町赤十字奉仕団が11月4日、70歳以上のひとり暮らしのお年寄り329人を訪ね「健康に注意しながら、毎日を過ごしてください」と励ましの言葉をかけ、団員手作りのおはぎを届けました。

お年寄りの方たちは、心のもった訪問に感謝され、団員との会話に和やかな楽しいひとときを過ごしました。